

“KANAGAWA”
福祉タイムズ
 2003 **5** No.618

発行日 2003年（平成15年）5月15日
 毎月1回15日発行
 発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
 社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
 TEL045-311-1423 FAX045-312-6302
<http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/>
 編集発行人 清水勝夫
 定 価 100円（郵送料込）
 印刷所 神奈川新聞社
 昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「少年がくれた贈り物」平塚市の「宮松ラビット学童クラブ」に通う小学2年生のたいし君は、外で遊ぶのが大好きだ。クラブから公園に行く途中、今日学校で隠れドッチボールをしてきたと楽しそうに話してくれた。公園に着くと、直ぐに友だちと土を掘り返し幼虫取りを始めた。真剣な顔になったり、笑ったり、あっちへ行ったりこっちへ来たりと元気に動き回る。日も暮れる頃、やっと満足したのか滑り台の上で安らぐ姿を見つけた。夕日に輝く無垢な笑顔がひと時の安らぎをくれた。（写真・文 菊地信夫）



子どもたちにとって春の卒業式や入学式は、いろいろな思いを込め、未来への希望をもちながら成長していくための、一つの過程なのでしょう。

今年も地域の小学校の卒業式に参加させていただき、深い感動を受けました。

我々の卒業式とだいぶ違って、卒業生全員が、感動と感謝を歌や言葉で表現するという、自分たち手作りの卒業式でした。

その卒業生の送別にあたる五年生の集団の中に、先生が隣に座り、静かにするよう、優しく声を掛けられている一人の子どもの光景を見ました。式典全体には何の支障も違和感もなく、その模様に参加者も数人しかいないようでした。

後でその模様を校長先生に尋ねてみると、気が付きましたかと感慨ぶかい様子で話をしてくれました。

ハンディキャップのある友だちでも、皆と同じように普通の学校生活をさせたい。そのためには、皆で協力をしていかなければならない。先生の手助けはあったものの、見事にそれを実行した子どもたちの雄姿に、改めて目頭が熱くなる思いがしました。

県民生委員児童委員協議会
 広報委員長 鈴木立也

目次……………CONTENTS

施設とボランティアの関係づくりのために …… 2・3
 政府「障害者基本計画」新障害者プランを決定 …… 4
 かながわ福祉人材センターが新しくなりました！ …… 5
 子どもの未来を託す …… 6
 かながわ長寿社会開発センターいきはつらつ …… 7
 連載・心のゆたかさをはぐくむ(2) …… 10・11